

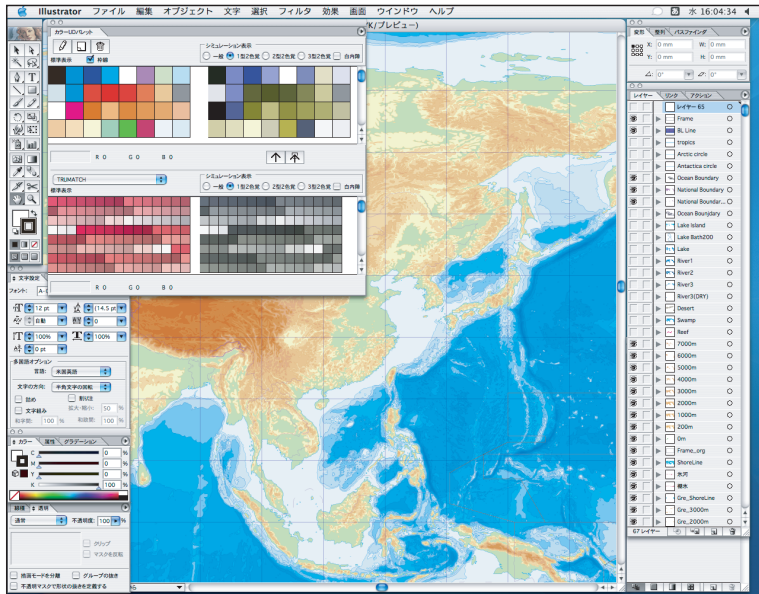
# PlugX®

## 色覚バリアフリーデザインをアシストします

# カラーUDパレット (仮称)

ただいま開発中! 2006年9月発売予定

●企画・開発協力: 村上葉子 (日本工学院八王子専門学校)

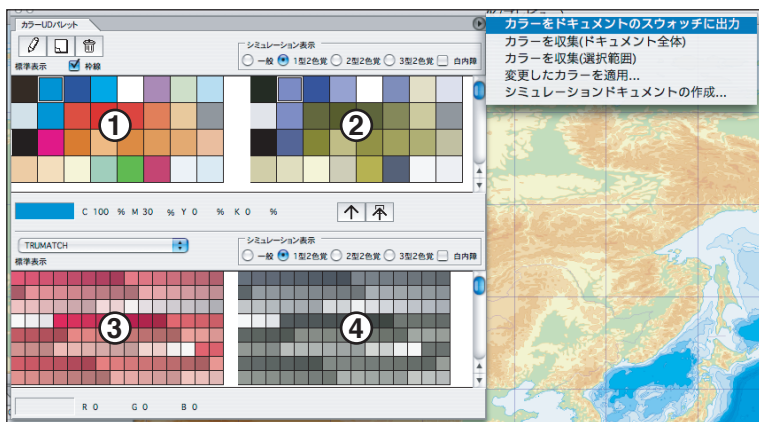


### 『カラーUDパレット』 (仮称) の特長

- Illustrator®内でシームレスにご利用いただけます。
- 色覚異常の種類による見え方を確認しながらカラーを選択することができます。
- 選択したカラーをIllustrator®のスウォッチパレットに出力し、すぐにデザインワークに使用できます。
- ドキュメント全体の見え方シミュレーションもできます。
- 既存のドキュメント内で使用されているカラーを収集してリストアップし検討できます。

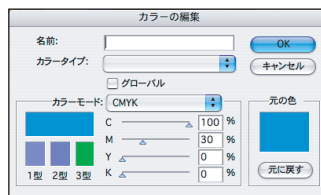
\*上記の機能は発売までに変更される可能性があります。

### 操作パレット



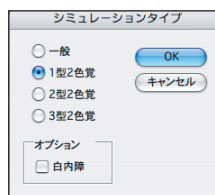
- ①ドキュメントから収集したカラーまたは作成したカラーの編集領域
- ②ドキュメントから収集したカラーまたは作成したカラーのシミュレーション領域
- ③スウォッチライブラリの表示領域
- ④スウォッチライブラリのシミュレーション領域

### カラーの編集



編集領域から選択したカラーを見え方の違いを確認しながら微調整できます。

### シミュレーションドキュメントの作成



色覚異常のタイプを選択してシミュレーションドキュメントを作成できます。

### 日本の色覚異常の現状は?

- 日本人男性の20人に1人 (5%)、女性の500人に1人 (0.2%) が色覚異常といわれています。
- 高齢化により微妙な色の差がわかりにくくなります。60代で80%、80代でほぼ100%の方が白内障だといわれています。
- 現在、小学校での定期健康診断では色覚検査は行われておりません。自分が色覚異常かどうかを知らない人が増えています。

「色盲の人にわかりやすい (バリアフリー) 色づかいは、色盲でない人にもわかりやすい (ユニバーサル) 色づかでもある。他のバリアフリー対策に比べ、色覚バリアフリーは配色にわずかな気配りをするだけで、追加のコストをいっさいかけずに達成できる。この大きな特長を有効に活用し、すべての人に見やすい、ユニバーサルなプレゼンテーションが心がけられていくことを期待している。」

岡部正隆 (国立遺伝学研究所) ほか「ユニバーサルデザインにおける色覚バリアフリーへの提言」(2003年8月)より

・ PlugXは、株式会社地理情報開発の商標です。  
 ・ Adobe, IllustratorはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。  
 ・ Copyright©2006 株式会社地理情報開発 CHIRI Geographic Information Service Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社はAdobe Solutions Network会員デベロッパです。  
 お客様の用途に合わせたカスタマイズや独自プラグイン開発も承ります。

